

鶴貝ゼミの紹介

はじめに

みなさん、はじめまして。2019年度鶴貝ゼミ長の堀内悠花です。ゼミを選択する皆さんの参考になるよう、鶴貝ゼミを紹介します。

ゼミの研究内容

鶴貝ゼミでは、「情報処理研究」をテーマに、コンピュータに必要なプログラムの基本的な仕組みを学び、アプリケーションの作成を行います。「Java」というプログラミング言語を使用しています。一見難しいと感じるかもしれませんが、全員スタートは同じで、基礎から少しずつ勉強していくので、プログラミング初心者でも一切心配はありません。

- 春学期は指定の教科書を元に、ゼミ生が順番に授業形式でプレゼンテーションを行い、プログラムを作成するための手順を基礎から学んでいきます。PowerPointを使って解説をしたり、実際にプログラミング画面を映し出したり、教科書を用いたり、方法は各々です。プレゼンの最後には、その範囲の復習を問題にして他のゼミ生に課します。問題を作成することで、さらに理解を深めていきます。
- 秋学期には各自テーマを決めて、本格的で大規模なプログラムの作成を行います。今年度の例では、登った山の記録や危険箇所のチェック、世界遺産や日本の名所を表示するもの、競馬の研究、自分に合う化粧品や服を診断するもの、多機能ブラウザ、太陽系を探索するもの、などジャンルや形態も様々です。春学期に学んだ内容を生かし、自分の好きなものを自由な形にプログラムを作り上げていきます。

ゼミの雰囲気

今年度の鶴貝ゼミは、男子3名、女子6名の計9名のゼミ生が所属しています。消費情報環境法学科の学生が8名、法律学科の学生が1名です。様々な人が所属しているので、厳しい決まりなどはありません。とても自由な雰囲気のゼミです。

さいごに

情報処理に少しでも興味を持っているならば、ぜひ鶴貝ゼミで知識を深め、将来必ず活かすことのできるスキルを身につけてください。紹介は以上になります。鶴貝ゼミの雰囲気が少しでも皆さんに伝われば幸いです。

